

奨励賞



設計担当者

乾 久美子

乾久美子建築設計事務所、東京建築士会



共同設計者

松下 宏

延岡設計連合協同組合、宮崎県建築士会

複合施設(図書館、店舗、飲食店、事務所)／宮崎県延岡市

延岡駅周辺整備プロジェクト

構造 | RC造PC造一部S造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 8,878.69㎡

建築面積 | 1,695.11㎡

延べ面積 | 1,659.54㎡

竣工 | 平成30年3月9日



1



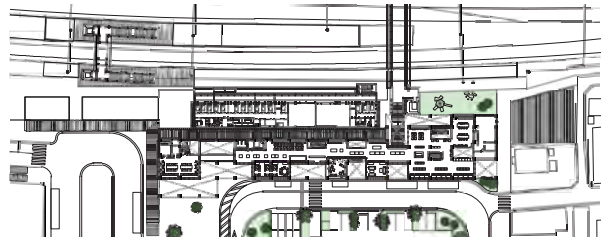
2



3



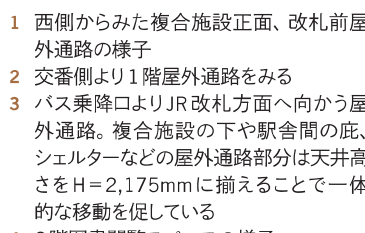
4



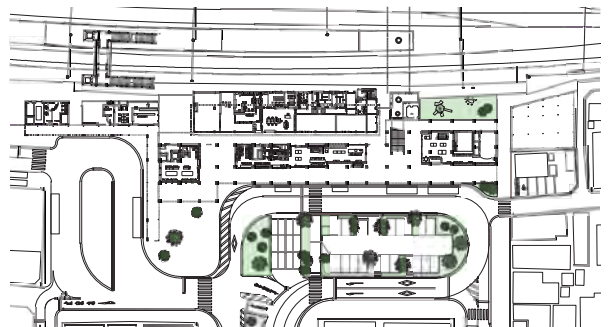
2階平面図



5



1 西側からみた複合施設正面、改札前屋外通路の様子
2 交番側より1階屋外通路をみる
3 バス乗降口よりJR改札方面へ向かう屋外通路。複合施設の下や駅舎間の庇、シェルターなどの屋外通路部分は天井高さをH=2,175mmに揃えることで一体的な移動を促している
4 2階図書閲覧スペースの様子
5 東西自由通路内部。φ140mmの無垢柱写真…阿野太一



1階平面図

選評

本作品は、JR延岡駅のリノベーションにあわせて実施された駅前の再開発事業(公共施設の建築、ロータリーの整備等)のうち、応募建築家の乾氏に関わった建築等(デザインコードの作成と監修を含む)がその対象である。中心となるのは、駅前に建った複合公共施設(名称「エンクロス」と東西自由通路で、エンクロスは指定管理者が入ってブックカフェや観光物産所等

が運営されている。

エンクロスは、既存の駅のスケールにあわせて、施設の構成、高さ、構造、スパン等を決めている。なかでも、高さを低くおさえ2階建てとしている点の特徴で、1階の階高は既存の駅にあわせている。そのことによって、必ずしも大きくない都市の駅前のスケールにあった建物となっており、2階のアクティビティが駅前を訪れた

人から見える形で、賑わいの拠点をつくるという所期の目的を果たしている。

一見、地味にもみえるエンクロスだが、そのスケール、構成、構造等が周辺施設のデザインコードに反映されており、駅前の取り組みを周辺に波及する効果をもたらしており、まちづくりに関わる施設として高く評価でき、奨励賞にふさわしい作品といえる。(後藤 治)